

第47回 神無一族の氾濫

担当 神無七郎

☆今回は「所属」に関する変則詰将棋の特集です。特に中立駒は初見の方も多く、その基本的性質の把握が難関だったと思います。

①ばか詰 149手
神無七郎

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 飛香歩8
受方持駒なし

18飛、29玉、19飛、38玉、

- 39香、49玉、38香、58玉、59歩、69玉、58歩、同玉、
- 「59飛、68玉、69飛、57玉、59飛、58香、同飛、47玉、57飛、同玉、59香、58飛、同香、同玉」(≡A)、
- 59歩、同玉、57飛、58香、同飛、69玉、A、
- 59歩、同玉、57飛、58香、同飛、49玉、59飛、38玉、
- 39香、29玉、38香、18玉、19歩、17玉、18歩、同玉、
- 19飛、27玉、17飛、同玉、19香、18飛、同香、同玉、
- 19歩、同玉、17飛、18香、同飛、29玉、19飛、38玉、
- 39香、49玉、38香、58玉、A、59歩、同玉、
- 57飛、58香、同飛、69玉、A、59歩、同玉、
- 57飛、58香、同飛、69玉、A、59歩、49玉、

19飛、38玉、39香、27玉、17飛、同玉、19香、18飛、同香、27玉、17飛迄149手。
止少丘八―歩を香に変える魔術。

中澤宣幸―持駒変換サイクルがよくできていますね。

☆本作の主題は拡大型持駒変換。「A」と略記した手順で

盤上の飛を持駒の飛に変え、その飛を利用して歩を香に変える持駒変換が本作の基本素材です。
占魚亭―17香消去が目的。見事なりピート手順です。

☆最初の持駒変換は2回が限度。17香消去で持駒変換が3回可能になります。

☆以降は収束ですが、これが意外と難関でした。

原雅彦―収束5手に繋げる最短ルートに手こずる。

☆138手目49玉がちよつとした破調。ここで同玉から収束に入ったせいで、1歩不足で諦めた方や、1歩多く使って173手で解答された方が続出しました。

☆本作は持駒変換が2回から3回に増えるのですが、1回から4回まで増える順次拡大も実現可能なはず。どなたかぜひ挑戦を！

②Andernachばか詰 9手
青木裕一

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金香

65 金、44 玉、54 金、同銀転、

47 香、同金転、45 銀、55 玉、

56 金迄 9 手。

【Andernach】駒を取った駒

(玉を除く)は、その場で

相手の駒となる(相手の駒

になる手を「転」で表す)。

福原徹彦―初形から金銀の向

きが変わっただけ!

原岡望―金銀をそのままひつ

くり返す。初手が鍵。

作者―初形と詰上りの盤面の

違いが金銀の所属のみとい

う狙いです。

☆解説するのも野暮に感じら

れるユーモア作。もちろん

アイデア一発で終わりでは

なく、玉を追い出す不利益

のある導入部や、5 手目の

限定打など詰将棋らしい手

もしっかり入っています。

中澤宣幸―お前ら揃いも揃っ

てという感じ(笑)。

☆本作同様「守備駒の寝返り」

の主題を持つ作品には神無

太郎氏作、ばか詰 17 手(詰

パラ 2003 年 6 月)があります。

駒取りが手順に入るのがこ

の主題の難点ですが、Ander

nach なら捨駒でこれを実現

できます。難点を利点に変

える着想が見事ですね。

③Andernach はか自殺詰 8 手

変寝夢

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 包

31 包、同馬転、75 馬、同龍転

35 龍、同馬転、17 馬、28 金

迄 8 手。

【パオ(包)】中国象棋の駒。

動くときは飛車と同じ。駒

を取るときは必ず一つ駒を

飛び越えて取る。

占魚亭―楽しい連鎖。Anderna

ch らしさに溢れた快作。

☆まずは初形をよく観察しま

しょう。盤上の龍や馬が全

て玉に利いていることに気

づきませんか? そして、

これらを攻方の駒として利

用するためにAndernachルー

ルを使うことに気付けば、

もう解けたも同然です。

作者―スイッチバック 3 回が

狙い。

福原徹彦―ピタゴラスイッチ

のような手順。

☆駒の所属が変わってもスイ

ッチバックと呼ぶかどうか

は分かりませんが、馬↓龍

↓馬のリレーは正にピタゴ

ラスイッチそのもの。多く

の解答者が短評でその名を

挙げています。

和田裕之―この系のルールは

いつも最後同馬転まで 9 手

としたくなる。

☆最終手同馬は「転」で自玉

に王手する反則。従って 28

金迄で詰みとなります。

和田裕之(続き)―3 連続即

時スイッチバック!は面白

いが、包が初手だけなのは

拍子抜け。

☆主題の好評さに比べ、この

包の使い方は不評でした。

フェアリー駒を使った作品

は、それに見合う手順を期

待されるので、その期待に

応えられるかどうか重要です。

④ばか詰 5手
神無太郎

攻方持駒 n角

受方持駒 残り全部 (中立駒)

44 駒、33 飛、43 駒成 33 飛、

32 n 駒成迄5手。

(詰上り)

【中立駒】どちらの手番でも

動かせる駒。(横向きの字か、

横にnを付加して「駒」と

表記。細則は出題稿参照。)

☆中立駒は本誌ではまだ馴染

みのない方も多いはず。ま
ずその基本的性質の分析か
ら入りましょう。

竹園政秀—このルールでは両

王手しか詰まない。

☆「しか詰まない」とは限り

ませんが、中立駒の王手に

はその王手駒を逃がす受け

があるので、詰ましくい

ことは確か。両王手は最有

力の選択肢です。

和田裕之—例題と違ってこの

位置では両王手でないと詰

みにくい。角打ちの場所を

限定する意味を考えたら解

けた。

福原徹彦—中立駒ならではの

飛合の逆用に味がある。

駒井信久—ばか詰に中立駒は

鬼に金棒？

☆中立駒の合駒はすぐさま攻

方の駒のように使えるので、

協力系ルールでは特に威力
を發揮します。つまり本作

は角と合駒を利用して両王

手の詰型を作ることが解図

の目標となります。

中澤宣幸—竜を2匹召喚して

両王手。

岩本修—初手限定打の意味付

けがいいですね。

尾形充—45玉が初手を限定し、

3手目34 n 駒成の余詰を消

している上手い配置。

☆初手55以遠にn角を打つと

3手目43 n 駒成が自玉への

王手。また、2手目34 n 駒成

も自玉への王手の反則。45

王は効率的な余詰防止の配

置です。双裸玉の超簡素形

から連続開き王手により両

王手で詰む手順も鮮やかで、

中立駒入門として理想的な

仕上がりだと思えます。

⑤ばか詰 7手
神無太郎

攻方持駒 金香

受方持駒 残り全部 (中立駒)

53 n 金、同玉、55 n 香、54 n 角、

32 n 駒成 54 n 角、72 n 駒成迄7手

(詰上り)

和田裕之—ほとんどの中立王

手ではその駒を動かさされて詰にならないが、香だけ例外。

☆受方が55_n香を動かせる位置は56ですが、それでは王手が消せません。中立駒で詰める手筋は④の「両王手」や、出題時の例題で使った「動かせない王手」があります。本作は「動かしても解除できない王手」が使われているわけです。

☆また、本作の解図にはもう一つ閃きが必要です。駒井信久―ばか詰なのにすかし詰！

中澤宣幸―合効かず。透かし詰は不可と思ひ込み苦戦。
☆初手53_n金は妙手。45_nだと最終手55_nで香を抜いて詰みません。続く香の王手に対し、前に利く合駒は

すべて白玉への王手となる反則。頭の丸い合駒が必要ですが、桂は売切れ。従って角合しかないので、これを左右に成るとも合駒はできません。すかし詰ではないのに合駒ができません詰む「擬似すかし詰」の幕切れです。

岩本修―最後54_n歩合が一瞬打歩詰かと思ってしまう。
☆相手玉を詰めるわけではないので、打歩詰は無関係です。あくまで白玉への王手の反則です。

止少丘八―桂の菱形配置が色々な受けを消して上手い。

☆52_n桂は他の場所に配置しても良いのですが、例えば44と64が空いていると44_n金、63_n玉、66_n香、65_n角、83_n角

成、64_n角、53_n角成という両王手の余詰が成立します。また56_n桂は44と64に利かすだけでなく、最終手57_n香成の受けも消しています。従って52_n桂・56_n桂を36_n桂・76_n桂に変更したり、全体の構図を一段下げるとはできません。初形の配置には単なる見栄え以上の意味があるのです。

☆本作は左右対称の初形と詰上り、二度の角合とその活用、擬似すかし詰等、中立駒の手筋満載で、このルールが持つ魅力を感じられる作品だと思えます。

【総評】
無番和―久しぶりに1問解けて嬉しいです。

尾形充―何とかなる難度で楽しめました。全解ならば初

めての快挙です。

☆今回はやや難度低め。全題正解者も4名いらつしやいました。ルールさえ分かれば楽しめる作品が揃っていたと思います。

【各題の正・誤・無解者数】

① 9 2 9 ② 14 1 5 ③ 9 1 10
④ 11 2 7 ⑤ 8 3 9

【解答成績】(太字5名当選)

【全題正解】尾形充、須川卓

二、占魚亭、止少丘八

【4題】駒井信久、中澤宣幸、

福原徹彦

【3題】原雅彦、原岡望、

和田裕之

【2題】岩本修、田中孝海

【1題】赤井秀雄、無番和、

桂題、竹園政秀、中山芳樹、

山本強志

【0題又はコメントのみ】

鈴木彊、西野かな